



### 第53回トップセミナー開催

トップリーダーが切り拓く日本の未来～「人づくり革命」と「働き方改革」の推進～

2020年2月26日(水)、ANAクラウンプラザホテル広島において、2019年度のトップセミナーを開催しました。

本年度は、第一講演に株式会社hapi-robot代表取締役社長の富田直美氏、第二講演に株式会社デュエン代表取締役社長の安恒理氏を講師にお迎えしました。

講演に先立ち、中国生産性本部清水会長から、「昨年はラグビーワールドカップ日本大会が、また、今年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、スポーツという視点で、国際社会の中での我が国『日本』を、改めて実感されているものと思う。

一方、その国際社会は、多方面で進行するグローバル化、自国第一主義による従来の枠組みの機能不全化、地球温暖化による環境問題の深刻化、AIやIoT等デジタル技術の進展に伴う経済・社会の急速な変化等、喫緊かつ様々な課題を抱えており、我が国もその渦中にあることは言うまでもない。

合わせて、我が国では、他国に先駆けて、人口減少、少子・高齢化が急速に進んでおり、こうした諸課題を複合的に解決していく必要がある。

このように、複雑かつ先行き不透明な時代をどのように切り拓き、組織を持続的に成長させていくか、その解決に不可欠なものが『生産性の向上』であり、その達成に向けた、『付加価値の向上』『効率的な業務運営』を図っていく過程において、リーダーの指導力や発想力等が果たす役割は、今まで以上に大きいものとする」との開会挨拶がありました。



第一講演では、「『変なホテル』の立役者が語るロボット、AI、IoTがもたらす未来。」を演題に、富田氏によるご講演をいただきました。続く第二講演では、「『孫子の兵法』に学ぶ情報戦略」を演題に、安恒氏によるご講演をいただきました。安恒氏の講演内容は、次号で詳しく掲載する予定です。

閉会にあたり、中国労組生産性会議久光議長から、「生産性運動は、単なる合理化の追求ではなく、『人間性の尊重』を基本理念におき、付加価値の創造とともに『労働の尊厳』を守る運動であることは、言うまでもない。

私ども、『中国生産性本部』ならびに『中国労組生産性会議』では、これからも、『生産性三原則』を基本に、豊かで活力ある中国地方創出の牽引役となれるよう精励して参る」との挨拶がありました。

ご参加いただいた方々の熱心なご聴講により、本年度も本セミナーを盛会裏に終了することができました。ご来場くださいました会員各位に改めて御礼申し上げますとともに、次年度も多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。